



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年8月10日

上場会社名 ヤマト・インダストリー株式会社
 コード番号 7886 URL <http://www.yamato-in.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 重岡 幹生

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 岩本 滋行

TEL 03-3834-3111

四半期報告書提出予定日 2022年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	3,009	△8.7	△45	—	△57	—	△76	—
2022年3月期第1四半期	3,296	24.5	△63	—	△82	—	△88	—

(注)包括利益 2023年3月期第1四半期 23百万円 (34.7%) 2022年3月期第1四半期 17百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	△76.52	—
2022年3月期第1四半期	△87.91	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第1四半期	7,974	1,251	15.7	1,245.55
2022年3月期	8,155	1,227	15.0	1,222.26

(参考)自己資本 2023年3月期第1四半期 1,250百万円 2022年3月期 1,226百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	0.00	—	—	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※2023年3月期期末配当予想については、未定です。

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,800	4.0	△75	—	△100	—	△110	—	△109.51
通期	15,100	6.1	75	—	30	—	5	—	4.98

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	1,017,179 株	2022年3月期	1,017,179 株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	12,691 株	2022年3月期	12,691 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	1,004,488 株	2022年3月期1Q	1,004,488 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、詳細は添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和され経済活動の正常化に向けた動きが見られたものの、中国における経済活動抑制の影響やロシア・ウクライナ紛争の長期化などが懸念される中、原材料及び原油価格上昇や急速に進行した円安など、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは、引き続き国内外の体制を再整備し、合理化の実行による業績向上をめざしてまいりました。

売上高は、30億9百万円（前年同四半期32億96百万円）と減収となり、利益面では、営業損失45百万円（前年同四半期損失63百万円）、経常損失57百万円（前年同四半期損失82百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失76百万円（前年同四半期損失88百万円）と改善となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。なお、文中の各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含んでおりません

（合成樹脂成形関連事業）

新型コロナウイルス感染症から徐々に回復し顧客からの受注量の漸増傾向は見られるものの、世界的なサプライチェーンの停滞により、事業環境は依然として厳しく、売上高は、26億57百万円（前年同四半期29億2百万円）と減収になり、利益面では、営業損失41百万円（前年同四半期損失41百万円）と横ばいとなりました。

（物流機器関連事業）

受注拡大に努め積極的な営業活動を展開してまいりましたが、売上高は、3億51百万円（前年同四半期3億93百万円）と減収になり、利益面では、営業損失3百万円（前年同四半期損失22百万円）と改善となりました。

(2) 財政状態に関する説明

（資産）

資産合計は79億74百万円となり、前連結会計年度末と比べ1億81百万円減少しました。これは主に、受取手形及び売掛金が2億95百万円、電子記録債権が2億6百万円減少し、現金及び預金1億25百万円、原材料及び貯蔵品96百万円増加したことによるものです。

（負債）

負債合計は67億23百万円となり、前連結会計年度末と比べ2億4百万円減少しました。これは主に、支払手形及び買掛金が3億27百万円減少し、長期借入金が73百万円増加したことによるものです。

（純資産）

純資産合計は12億51百万円となり、前連結会計年度末と比べ23百万円増加しました。これは主に、為替換算調整勘定が97百万円増加、利益剰余金が76百万円減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年5月13日に公表しました連結予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,969,931	2,095,879
受取手形及び売掛金	2,275,679	1,979,778
電子記録債権	855,115	648,765
商品及び製品	544,574	590,534
仕掛品	153,559	180,027
原材料及び貯蔵品	364,816	460,940
その他	122,101	101,044
流動資産合計	6,285,778	6,056,969
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	268,435	268,799
機械装置及び運搬具(純額)	500,871	515,174
土地	768,976	768,976
リース資産(純額)	42,131	37,697
建設仮勘定	2,126	11,544
その他(純額)	83,151	83,727
有形固定資産合計	1,665,693	1,685,920
無形固定資産		
リース資産	8,453	29,498
その他	14,017	16,013
無形固定資産合計	22,471	45,512
投資その他の資産		
投資有価証券	32,762	34,052
その他	149,261	152,377
投資その他の資産合計	182,023	186,430
固定資産合計	1,870,187	1,917,863
資産合計	8,155,966	7,974,832

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,156,369	1,828,791
電子記録債務	442,606	436,882
短期借入金	1,277,188	1,317,106
リース債務	22,887	26,558
未払法人税等	19,049	25,128
賞与引当金	9,621	20,358
その他	255,884	247,718
流動負債合計	4,183,606	3,902,544
固定負債		
長期借入金	2,522,531	2,596,364
リース債務	33,643	47,459
繰延税金負債	29,281	21,502
退職給付に係る負債	151,827	149,330
その他	7,327	6,494
固定負債合計	2,744,610	2,821,151
負債合計	6,928,217	6,723,696
純資産の部		
株主資本		
資本金	927,623	927,623
資本剰余金	763,504	763,504
利益剰余金	△588,128	△664,996
自己株式	△23,244	△23,244
株主資本合計	1,079,755	1,002,887
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,431	2,163
為替換算調整勘定	182,398	279,855
退職給付に係る調整累計額	△36,731	△34,637
その他の包括利益累計額合計	147,098	247,381
非支配株主持分	894	866
純資産合計	1,227,748	1,251,135
負債純資産合計	8,155,966	7,974,832

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	3,296,147	3,009,168
売上原価	3,005,159	2,708,439
売上総利益	290,988	300,729
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	45,281	43,014
給料及び賞与	138,221	127,900
退職給付費用	12,314	12,615
その他	159,102	162,296
販売費及び一般管理費合計	354,919	345,827
営業損失(△)	△63,931	△45,098
営業外収益		
受取利息	643	569
受取配当金	90	127
為替差益	—	2,283
受取手数料	1,781	616
助成金収入	972	249
その他	5,028	815
営業外収益合計	8,516	4,662
営業外費用		
支払利息	15,526	14,022
為替差損	10,331	—
その他	1,342	2,715
営業外費用合計	27,200	16,737
経常損失(△)	△82,615	△57,173
特別利益		
固定資産売却益	1,484	—
特別利益合計	1,484	—
特別損失		
固定資産処分損	264	0
操業休止費用	—	15,098
特別損失合計	264	15,098
税金等調整前四半期純損失(△)	△81,395	△72,272
法人税等	6,875	4,505
四半期純損失(△)	△88,270	△76,778
非支配株主に帰属する四半期純利益	36	89
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△88,306	△76,867

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純損失(△)	△88,270	△76,778
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,462	732
繰延ヘッジ損益	△525	—
為替換算調整勘定	103,029	97,514
退職給付に係る調整額	1,801	2,093
その他の包括利益合計	105,767	100,341
四半期包括利益	17,497	23,563
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	17,404	23,415
非支配株主に係る四半期包括利益	92	147

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる、四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	合成樹脂成形 関連事業	物流機器 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,902,992	393,155	3,296,147	—	3,296,147
セグメント間の内部売上高 又は振替高	16,773	59	16,833	△16,833	—
計	2,919,766	393,214	3,312,980	△16,833	3,296,147
セグメント損失(△)	△41,167	△22,763	△63,931	—	△63,931

(注) セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	合成樹脂成形 関連事業	物流機器 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,657,748	351,419	3,009,168	—	3,009,168
セグメント間の内部売上高 又は振替高	90	320	411	△411	—
計	2,657,839	351,740	3,009,579	△411	3,009,168
セグメント損失(△)	△41,577	△3,520	△45,098	—	△45,098

(注) セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。